

【大分市-武漢市交流年表】

- 1979 9月7日に武漢市長をはじめとする武漢市友好訪問団が来訪し大分市で友好都市を締結
- 1980 第1次武漢市医療交流視察団の来訪(～09年第12次)
- 1981 中国武漢芸術団大分公演  
公演収益金をもとに大分市福祉基金が創設される
- 1981 第1次武漢市農業実習生受入(～04年第7次)
- 1982 第1次大分市農業交流視察団が武漢市訪問(～05年第7次)
- 1984 平和市民公園「武漢の森」落成
- 1984 湖北省および武漢市商品展覧会を大分市で開催
- 1984 大分国際車いすマラソン大会に武漢市代表選手が参加(以降、88年・91年・12年・15年を除き、毎年参加)
- 1987 第1次大分市医師会医療視察団訪中(～01年第7次)
- 1990 「中国武漢文物展」を大分市歴史資料館で開催
- 1991 中国長江中下流域で大水害が発生  
義援金総額3,003,529円を武漢市へ寄付
- 1992 日中友好交流都市卓球交歓大会に両市合同チームを編成し参加(以降、5年ごとに開催される当大会へ参加)
- 1996 日本芹採種委託事業の開始
- 1998 武漢市で大洪水が発生  
義援金総額4,083,004円および大分市議会から50万円を武漢市へ寄付。社団法人大分市医師会が被災者救援のために医薬品および医療器具を武漢市に寄贈
- 2004 友好都市締結25周年記念事業として、障がい者とボランティアで編成される「大分市障害者福祉・友好の翼」が武漢市を訪問。「武漢オーケストラ大分公演」を開催

- 2006 大分市武漢事務所開設
- 2009 友好都市締結30周年記念事業として、「友好の翼」による市民相互訪問を行ったほか、「ジュニアサッカー大会」、「大分武漢商談展示会」等を開催
- 2009 JICA草の根技術協力事業(地域提案型)により武漢市の「都市型近代農業および農業政策アクションプラン策定支援事業」を実施(～11年)
- 2012 大分市中学校と武漢外国語学校の生徒同士の体験入学等を開始(以降、毎年相互に生徒を派遣)
- 2012 中国成都市で開催された中国国際友好都市大会で大分市が「モデル友好都市」受賞
- 2013 「武漢市障害者芸術団大分公演」を開催
- 2014 両市の交流が「自治体国際交流表彰(総務大臣賞)」受賞
- 2014 友好都市締結35周年記念事業として、「武漢雑技団特別公演」、「ジュニアサッカー大会」を大分で開催。「大分交響楽団武漢公演」を開催
- 2014 おおいた夢色音楽祭に武漢市ミュージシャンが出演(以降毎年参加)
- 2014 武漢市大気環境改善事業の一環で視察団の相互訪問(～18年)
- 2016 自治体国際協力促進事業(モデル事業)武漢市ごみ分別・減量促進事業の一環で視察団の相互訪問(～19年)
- 2017 イオンモール武漢経開店にて「おおいたJAPANフェア」開催
- 2019 友好都市締結40周年記念事業開催



友好都市締結調印式(1979年)



25周年記念事業  
武漢オーケストラ大分公演(2004年)



武漢市障害者芸術団 大分公演  
(2013年)



おおいたJAPANフェアin武漢  
(2017年)

【大分市-武漢市友好都市締結40周年記念事業】

大分市と武漢市は、2019年(令和元年)に友好都市締結40周年を迎えました。記念事業として9月に友好都市交流パネル展を開催し、11月には武漢市に大分市訪問団を派遣します。また、今後は下記の事業の開催を予定しています。両市の市民が長きにわたる友情を共に祝い、都市の結び付きを強めるとともに、更なる両市の発展に繋げていきます。

**2020**  
2/8(土)  
**武漢点心屋台村**  
～中国武漢市の美食満載!!～  
場所 大分駅府内中央口広場  
概要 武漢市のシェフによる  
グルメイベントを開催します。

**2020**  
3/26(木)  
**40周年記念式典**  
場所 平和市民公園能楽堂  
予定 概要 武漢市友好訪問団の受け入れ  
40周年記念式典、記念植樹、共同宣言、  
青少年交流大会

国際化推進室 ☎537-5719



さまざまな分野でIT化が進む武漢市では、農業にもインターネットの活用を促進しています。各生産施設の情報を一括管理し、リアルタイムで施設や土壌の状態、生育状況、収穫出荷量などを把握することができます。厳しい基準で保護されたブランド農産物も多く、消費者にはそれらの詳細なトレーサビリティとネット通販が提供されるなど、安心・安全をアピールして消費を促進するための政策に力を入れています。

「農業・農村には大気や水質の浄化など自然環境の保護機能があり、都市住民の就農や生きがいの場になっていくことを大分市での研修で学びました。そして、地元への愛着や郷土料理の伝承が豊かな自然や地域を守る素晴らしいものだと思える。武漢市の農業の発展に大きな影響を与

えたと思っています」と『武漢市農業農村局』副巡視員の車国強さん。第四次農業実習生の団長として大分に滞在してから28年、「今でも昨日のことにように思い出します」と、研修当時の写真を見ながら丁寧な日本語で思い出を語ってくれました。

受け入れ先の農家で寝食を共にし、家族のように過ごしたという車さん。農業を通じた両市の関係が年月とともに成熟していく礎は、お互いの思いやりと家族同然の触れ合いが根底にあるのかもしれない。

**武漢大分、それぞれの友人へ**

「40年掛けて友好の種をまき、理解や友情を深めてきました(金さん)」「交流を通して私たちは親戚になりました(袁さん)」「20年来の大分の友人が、家族全員で武漢に遊びに来てくれました(徐さん)」「人は支え合って生きていくと大分市の皆さんが教えてくれました(車さん)」。

40年間、友好の関係を築き上げてきた武漢市と大分市。今回会う方々から発せられたのは、市と市の交流だけでは終わらない、人と人との強く深い結び付きが伝わるコメントの数々でした。大分の皆さんは、どんな言葉、気持ちを武漢の友人へ届けますか？



01/武漢市農業農村局 副巡視員 車国強さん  
02/長江対岸からの朝日